

岡田宮

宝永4年(1707) 貝原益軒書

第66号

平成30年11月吉日
発行 岡田宮社務所
郵便番号 806-0033
北九州市八幡西区岡田町1番1号
電話 (093) 621-1898
FAX (093) 621-5330
ホームページ <http://www.okadagu.jp/>
Eメール okada_guu@yahoo.co.jp



幸せを運ぶ
「子宝恵方犬」が完成しました。

この子宝恵方犬は今年の恵方を向いています。子宝・安産・家内安全・厄除・無病息災・福運・金運・仕事運・えんむすび等の御利益がいただけます。

ご自身の干支を撫でた後に、子宝恵方犬を撫でてください。

子宝祈願・安産祈願の方は、最後にご自身のお腹を撫でて、お子様とのご縁をお祈りください。

目次

子宝恵方犬完成	1	第二十四回 岡田神社書道展	3
岡県紀行⑥	2	年末年始の行事案内	4
神社なぜなぜ問答66	2	平成31年の厄年	4

年末年始の行事案内

●大祓

十二月三十一日

大祓とは、半年間の罪穢を祓い、清々しい心となって各自の勤めに励み一家の幸福を増進せんとする意義深い行事です。

形式に住所、氏名、年令を書き身体をなで息を三度吹き掛け初穂料(お思召し)と共に袋に納めて十二月三十一日までに町内の神社総代か岡田宮社務所迄お届け下さい。

●歳旦祭

一月一日

新しい年をお祝いし、今年も良い年であるようにと願う神事。

午前〇時より、恒例の「福餅」を先着順で五百個配ります。

●開運福引き

一月一日～三日

一枚五百円でハズレなし。

一等は羽根ぶとんなどが当たります。

新年の運だめしにどうぞ。

●どんど焼祭

一月十四日(月) 成人日

古くなった縄、門松等を焼納する神事。

地元の有志による餅まき、神酒接待、ぜんざい等の諸行事が午前中に奉納されます。



平成31年算賀の年祝

(年齢は数え年)

還暦	六十一才	昭和三十四年生
古稀	七十才	昭和二十五年生
喜寿	七十七才	昭和十八年生
傘寿	八十才	昭和十五年生
米寿	八十八才	昭和七年生
卒寿	九十才	昭和五年生
白寿	九十九才	大正十年生

平成31年の八方除

八白土星の方

生 年	年齢(数え年)
昭和 四年	九十一歳
昭和 十三年	八十二歳
昭和 二十二年	七十三歳
昭和 三十一年	六十四歳
昭和 四十年	五十五歳
昭和 四十九年	四十六歳
昭和 五十八年	三十七歳
平成 四年	二十八歳
平成 十三年	十九歳
平成 二十二年	十歳

平成三十一年の厄年

(年齢は数え年)

厄 年(男)	厄 年(女)
二十四才 前厄	十八才 前厄
二十五才 大厄	十九才 大厄
二十六才 後厄	二十才 後厄
四十一才 前厄	三十三才 前厄
四十二才 大厄	三十四才 大厄
四十三才 後厄	三十五才 後厄
六十才 前厄	六十才 前厄
六十一才 大厄	六十一才 大厄
六十二才 後厄	六十二才 後厄

◆厄年大祭 二月節分日

厄 年(男)	厄 年(女)
二十四才 前厄	十八才 前厄
二十五才 大厄	十九才 大厄
二十六才 後厄	二十才 後厄
四十一才 前厄	三十三才 前厄
四十二才 大厄	三十四才 大厄
四十三才 後厄	三十五才 後厄
六十才 前厄	六十才 前厄
六十一才 大厄	六十一才 大厄
六十二才 後厄	六十二才 後厄

会 期 平成30年7月21日(土)
～29日(日)
表彰式 平成30年7月29日(日)
総出品点数 748点

第二十四回
岡田神社書道展

[illegible]

岡田神社の境内にあるスタジオ

お宮参り・七五三の参拝時の着物レンタルが
0円から借りられます。

16,000円~ (四切り2枚・衣裳・
着付・ヘアメイク付)

有川写真館
岡田神社STUDIO

北九州市八幡西区岡田町1-46 093-621-2080



西郷隆盛と 黒田長溥の黒崎での密会

明治三年（一八七〇）七月二十六日夜、小倉にいた西郷隆盛は徒歩で密かに黒崎宿にやって来た。そして、福岡藩知事の黒田長知の養父で、元藩主の黒田長博と密会した。

この八日前の十八日夜、明治新政府弾正台（警察機関）の弾正大忠である渡辺昇（大村藩出身）らの一団が博多に入った。そして、福岡藩會計掛の役人たちを逮捕した。これは、新政府が発行した太政官札を贋造した嫌疑によるものであった。

黒田長溥は薩摩藩島津家からの養子で、西郷を抜擢した島津斉彬の年下の大叔父である。幕末のお由羅騒動（斉彬擁立派と島津久光擁立派の内紛）の際には、斉彬を支援した。そうしたこともあってか、当時鹿児島藩大参事であった西郷の力を借りて、藩の危機を乗り切ろうとした。

西郷は、鹿児島藩知事の島津忠義とその父の久光の許しを得て、七月二十五日、福岡の港まで来た。だが、すでに渡辺ら政府の役人と逮捕者が小倉（当時は日田県管下）に向かったことを知ると、それを追って小倉に上陸した。

当時、長溥は病であつたが、この危急

に際して、密かに福岡から藩領東端の黒崎宿まで出て、ここで西郷と密談した。

西郷は、長溥の要請を受け、この一件ができるだけ穩便に済むよう、東京にいる政府参議の大久保利通らに働きかけるなど尽力した。だが、最終的に翌年の明

治四年七月十一日、黒田長知は福岡藩知事を免官となり、黒田家は東京に移住させられた。これは最後の大名改易とも解せられる。そして、有栖川宮熾仁親王がありがわのみやまひんと積でできる。そして、同年七月十四日の福岡藩知事となった。その後、熾仁親王は県知事・県令となった。

この措置は廢藩置県を斷行するにあつたのの諸藩に對する新政府の見せしめであつたと推測される。さらに、西郷でも防げなかつたのは、慶応元年（二八六五）の乙丑いごうの獄と呼ばれる福岡藩の勤王派弾圧により、同藩から新政府要路に人材を送り込めなかつたことも大きいだろう。

このように黒崎宿は、西郷隆盛とも関わりのある、福岡藩黒田家の終焉のきっかけとなった「贗札事件」の舞台の一つであった。(北九州市立自然史・歴史博物館学芸員 守友 隆)

神社
なぜ
問答

(その 66)

七福神 その①
なぜお寺にもお祀りされているのですか。

七福神といへば福神が宝船に乗つて海を渡つてゐる絵画を思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。これらは福や富を呼び寄せる縁起物として、根強い人気があります。

七福神には⁽¹⁾聖数である七という数字に基づき、恵比須（えびす）・大黒天（だいこくてん）・弁財天（べんざいてん）・布袋（ぼてい）・福祿寿（ふくろくじゅ）・寿老人（じゅろうじん）・毘沙門天（びしゃもんてん）が配されています。この中でも恵比須は、⁽²⁾記紀神話の国生みの段で葦の船に乗せて流された蛭子（ひるこ）であり、また大國主命の御子の事代主（ことしろぬし）であるともいわれています。また大黒天は古代インドの神であり、仏教の守護神でもある大黒天と、出雲の大国主命とが習合した神であるとされています。

このほか、弁財天はもともと

インドの河の神であり、音楽を司る神様でしたが、日本に来て宗像大社の御祭神であり、海之神である市杵島姫命（いちきしまひめのみこと）と習合しました。布袋は中国の禪僧ですが、弥勒菩薩の化身であるともいわれており、福祿寿と寿老人は中国の道教の神、毘沙門天は多聞天とも称され、仏教の四天王として知られています。

このように日本の神様もいれば、外来の神様もあり、別々に信仰されていた神々が集められ、七福神信仰として体系化されました。これには現世利益を望む一般庶民の願いがあり、宗教を超えて広く信仰されるようになったのです。

現在、全国各地で盛んな七福神巡りに、神社もあれば、寺院もあるのはこうした理由からなのです。

(1) 聖教
古く日本では偶数、特に八が好まれ聖なる数として尊ばれたが、時代が下ると大陸の影響を受けて奇数(陽数)、そのうち特に七・五・三が縁起の良い数字とされるようになった。

(2) 記紀神話
記紀とは、『古事記』と『日本書紀』を併せて呼ぶときの略称。『古事記』の上巻『日本書紀』の第一巻・二巻に記されている神々についての伝承を指している。